



SANKO GOSEI

三光合成株式会社

証券コード 7888

第90期 報告書

2022年6月1日 ▶ 2023年5月31日

■ ご挨拶

平素より株主の皆様には格別のご支援、ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。

当社2023年5月期、通期の連結業績を報告いたします。

この期の業績は売上高811億円、営業利益34億円、親会社株主に帰属する当期純利益20億円となり、3年連続の増収増益となりました。

前期に引き続き、コロナ禍での不安定な受注状況の中、こまめな経費削減に取り組むとともに、新しい仕事の取り込みに励んでまいりました。期の後半はコロナの収束とともに客先の生産も回復傾向となり、併せて期末での円安効果もあり、当社最高の売上高と利益を達成することができました。

さて、今後の見通しであります。グローバルでコロナも一段落と見ており、基本、受注量は回復していくと見ておりますが、このまま一本調子で戻るかどうか不透明な部分があります。引き続き客先動向に、従前にも増して注視して対応していきたいと考えております。

昨年度、当社の中期目標で「8・8・10」を説明させていただきましたが、今年度からは急激な円安状況を鑑みこれを「10・10・10」に改訂いたしました。売上高1,000億円、営業利益率10%、営業利益100億円を2028年5月期に達成することを目指します。従前にも増して付加価値の増大、営業利益率の向上に努めたいと考えております。

グローバルで各地域を強化していく予定ですが、中でも今年、人口世界一のインド市場は見逃せず、今後付加価値の高い品物に注力すると同時に事業拡大を目指す所存であります。又、新年度については円安に乗じた形で新興国の増強と当社の得意分野である金型の輸出に注力したいと考えています。

併せて、昨年度からの方針事項であります、事業のソフト化、テックショップ、製品設計、メカトロ分野の拡大にも取り組んでまいります。

地球環境面では、省エネに向け、新年度は当社3ヶ所目となる、国内最大工場の富山で太陽光発電が開始されます。その他、廃棄樹脂の再利用も向上させており、当社次世代技術部では樹脂の再生材料の物性低下を防ぐ研究成果が見えるところまで来ました。

昨今のジェンダーフリーの取り組みもすすめており、直近では「とやま女性活躍推進企業」に富山県で、認定されております。

グローバルで現状はコロナ前に戻りつつあると考えていますが、このまま一本調子で戻るかどうか不透明なところでございます。

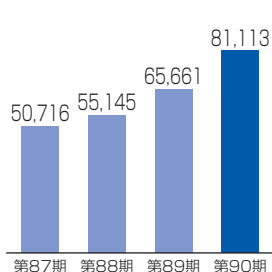
当社はこのような情勢下で、一步一步確実に前を向き、中期目標「10・10・10」に到達する所存でございますので、株主の皆様には何卒、従前にも増してご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 **黒田 健宗**

■ 決算ハイライト

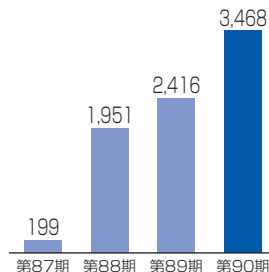
売上高

81,113百万円



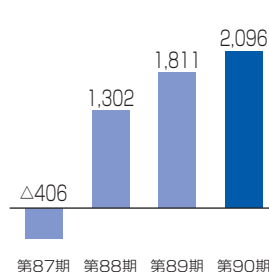
経常利益

3,468百万円



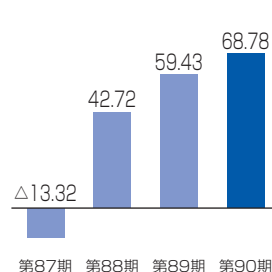
親会社株主に帰属する当期純利益 (△純損失)

2,096百万円



1株当たり当期純利益 (△純損失)

68.78円



■ 事業概況

日本

自動車メーカー等の増産による車両用内外装部品の増収と車両向け金型が増収となり、売上高は26,927百万円（前期比16.5%増）、セグメント利益は2,607百万円（前期比49.0%増）となりました。

欧州

金型は減収となりましたが、車両用内外装部品の増収もあり、売上高は9,606百万円（前期比45.9%増）、セグメント利益は434百万円（前期比527.2%増）となりました。

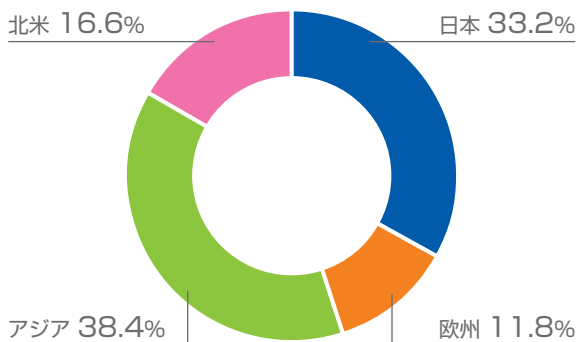
アジア

車両用内外装部品及び金型の増収により、売上高は31,130百万円（前期比17.2%増）となり、セグメント利益は720百万円（前期比31.2%減）となりました。

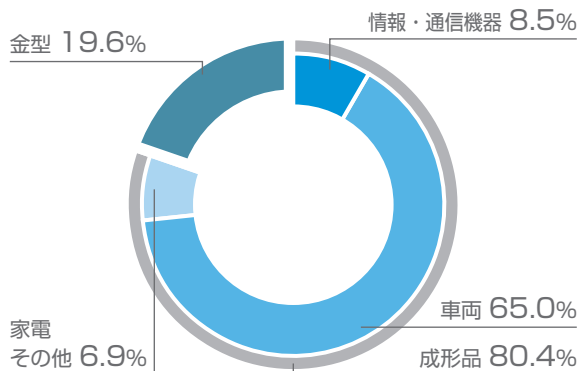
北米

車両用内外装部品の増収により、売上高は13,448百万円（前期比43.0%増）となり、セグメント利益は321百万円（前期比34.8%減）となりました。

地域別売上高構成比



事業部門別売上高構成比



■ トピックス

静岡工場敷地内に、新工場を建設

静岡工場の販路拡大に伴い、同工場敷地内に新工場を建設いたしました。2022年6月に着工し、ちょうど1年後の2023年6月に工場建屋の引き渡しが行われております。

工場建屋の延べ床面積は約1,112㎡あり、現在は中大型の成形機をメインに付帯設備の据え付けを行っている最中であります。全ての成形機には外観検査カメラが備わり、エプト貼り機、クリップ組み込み機や溶着機など、当社メカトロ部門が製作した省力化機器も導入することで、高品質かつ安定的な製品供給が可能となっております。

新工場を足掛かりに、海外を含めた当社の競争力を更に高める所存でございます。引き続き、ご支援ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



新工場 外観



新工場 外観



新工場 内部

■ 三光合成ネットワーク

国内の主要拠点

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 三光合成株式会社 本社 | 6 静岡工場・静岡営業所 |
| 2 東京営業所・国際営業部・海外部 | 7 滋賀工場・滋賀営業所 |
| 3 テクニカルセンター | 8 伊勢崎工場 |
| 4 熊谷工場・熊谷営業所 | 9 エスバンス株式会社 |
| 5 群馬工場・群馬営業所 | 10 三光合成九州株式会社 |

海外の主要拠点

子会社

アジア

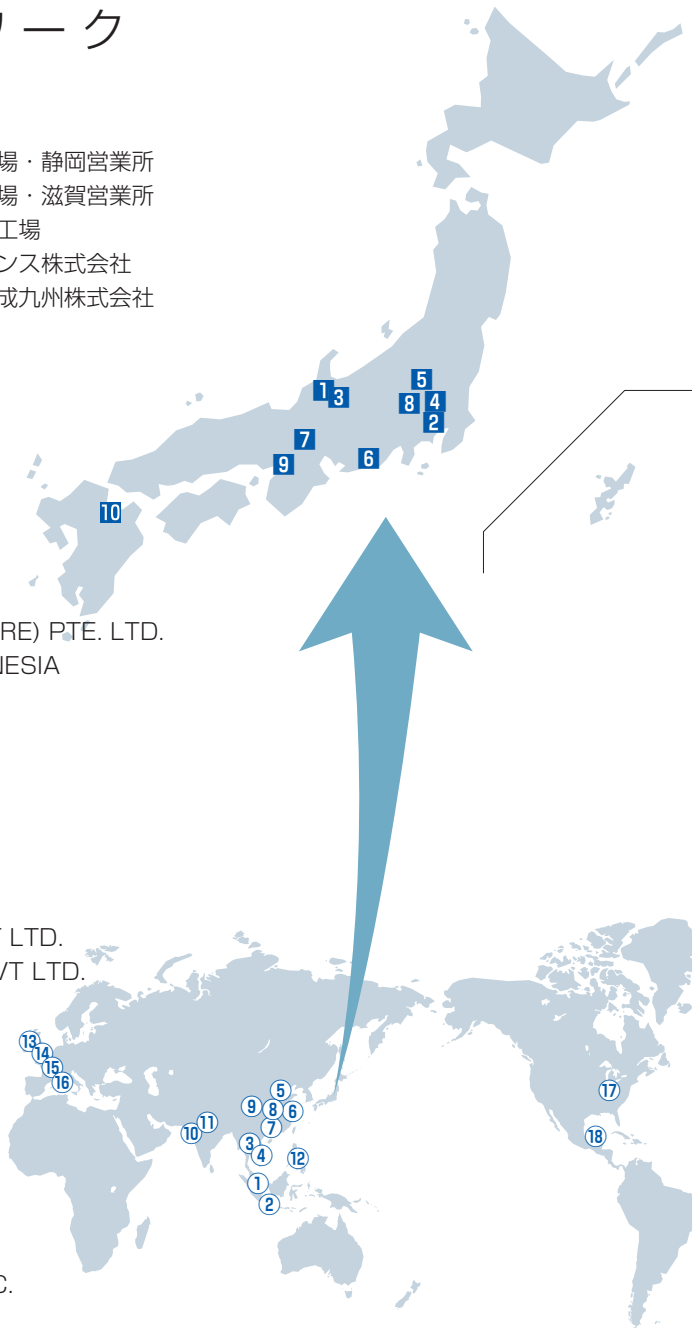
- 1 SANKO GOSEI TECHNOLOGY (SINGAPORE) PTE. LTD.
- 2 PT. SANKO GOSEI TECHNOLOGY INDONESIA
- 3 SANKO GOSEI (THAILAND) LTD.
- 4 SANKO GOSEI TECHNOLOGY (THAILAND) LTD.
- 5 天津三華塑膠有限公司
- 6 燦暉合成科技貿易（上海）有限公司
- 7 三華合成（廣州）塑膠有限公司
- 8 武漢三樺塑膠有限公司
- 9 東莞三樺塑膠有限公司
- 10 SANKO GOSEI TECHNOLOGY INDIA PVT LTD.
- 11 SANKO SVANCE JRG TOOLING INDIA PVT LTD.
- 12 SANKO GOSEI PHILIPPINES, INC.

欧州

- 13 SANKO GOSEI UK LTD.
- 14 SET EUROPE LTD.
- 15 SANKO GOSEI HUNGARY Kft.
- 16 SANKO GOSEI Czech, s.r.o.

北米

- 17 SANKO GOSEI TECHNOLOGIES USA, INC.
- 18 SANKO GOSEI MEXICO, S.A. DE C.V.



■ 財務諸表（要約）

単位：百万円

連結損益計算書（2022年6月1日～2023年5月31日）

売上高	81,113
売上原価	69,622
売上総利益	11,490
販売費及び一般管理費	8,006
営業利益	3,484
営業外収益	
受取利息及び配当金	35
その他	425 461
営業外費用	
支払利息	368
その他	108 477
経常利益	3,468
特別利益	0
特別損失	185
税金等調整前当期純利益	3,284
法人税等	1,173
当期純利益	2,111
非支配株主に帰属する当期純利益	14
親会社株主に帰属する当期純利益	2,096

単位：百万円

連結貸借対照表（2023年5月31日現在）

資産の部	流動資産	36,644
	固定資産	28,935
	資産合計	65,580
負債の部	流動負債	27,710
	固定負債	11,919
	負債合計	39,630
純資産の部	株主資本	24,436
	その他の包括利益累計額	1,042
	非支配株主持分	470
	純資産合計	25,950
負債純資産合計		65,580

単位：百万円

連結キャッシュ・フロー計算書（2022年6月1日～2023年5月31日）

営業活動によるキャッシュ・フロー	6,790
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,873
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,248
現金及び現金同等物の増減額	1,952
現金及び現金同等物の期末残高	8,775

■ 会社概要 / 役員 / 株式の状況 (2023年5月31日現在)

▶ 会社概要

商号 三光合成株式会社
 本社 富山県南砺市土生新1200番地
 TEL 0763-52-1000
 創業 1940年10月12日
 設立 1944年 9月18日
 資本金 4,008百万円
 従業員数 711名
 事業内容 1. 合成樹脂成形品の製造並びに販売
 2. 機械、電気部品の製造及び組立加工
 3. 合成樹脂成形用金型の設計、製造並びに販売
 4. 工業製品のデザイン、設計、試作並びに販売
 5. 工業用ロボット、各種機械器具の自動制御装置の設計、製造並びに販売
 6. 前各号に附帯関連する一切の事業
 主な取引銀行 三井住友銀行、北陸銀行、三井住友信託銀行
 ホームページ <https://www.sankogosei.co.jp/>

▶ 役員 (2023年8月24日現在)

会社における地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役社長	黒田 健宗	
取締役	満嶋 敏雄	全社技術統括兼次世代技術部長兼 T&E部門長 エスパンス(株)代表取締役会長兼社長
取締役	芹川 明	管理部門長、エスパンス(株)監査役
取締役	久住 アーメン	オート内外装ビジネスユニット長
取締役	中村 康二	三甲(株)監査役、(株)有沢製作所取締役
取締役	繁澤 宏明	
取締役	フランセス コーザ	成城大学文芸学部専任講師
常勤監査役	西村 源信	
監査役	今村 修	
監査役	磯林 恵介	税理士
監査役	藤本 慎司	弁護士

▶ 株式の状況

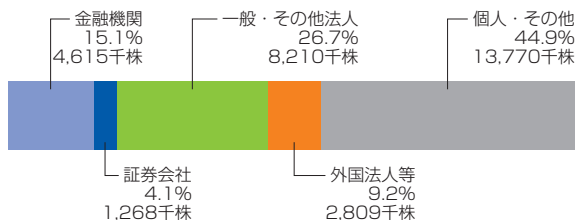
① 発行可能株式総数	43,200,000株
② 発行済株式の総数	30,688,569株
③ 株主数	7,640名

▶ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 千株	持株比率 %
双葉電子工業株式会社	4,508	14.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,366	11.04
有限会社ピー・ケー・ファイナンス	2,098	6.88
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	873	2.86
株式会社ALPINECAP	680	2.23
松村 昌彦	639	2.09
MSCO CUSTOMER SECURITIES (常任代理人 モルガン・スタンレー M U F G 証券株式会社)	493	1.61
梅崎 生八郎	464	1.52
柳 島 修一	443	1.45
JPモルガン証券株式会社	327	1.07

(注) 持株比率は自己株式(204,786株)を控除して計算しております。

▶ 所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	8月
基準日	定時株主総会 5月31日 期末配当 5月31日 中間配当 11月30日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛をお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	https://www.smb.jp/personal/procedure/agency/

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法

電子公告により当社のホームページ(<https://www.sankogosei.co.jp/>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

ホームページのご案内

<http://www.sankogosei.co.jp/> または

株主・投資家の皆様に、下記情報を含めた最新のニュースや、トピックスを公開しております。

- 財務ハイライト
- 決算短信
- 株式情報
- IRカレンダー

